

39-29 創生された潟湖干潟の特性と 環境変動メカニズムの解明に関する研究

沿岸域環境科学教育研究センター	特定事業研究員	森本剣太郎
”	教授	滝川 清
”	客員助教授	古川恵太
”	特定事業研究員	増田龍哉
工学部	助手	田中健路
大学院自然科学研究科	前期課程	三迫陽介

今日の有明海は、魚介類やノリの生産量の減少などの疲弊が問題化されている。その干潟環境の再生・回復に向けての対策法の開発を目的として、人工干潟を創生し、その人工干潟の環境モニタリングを実施して環境変動の動態把握と変動のメカニズムについての検討を行った。研究の対象とした人工干潟は、底質の外部からの搬入ではなく、埋立地の掘削により作り出された、管路によって外海と海水交換すること、潮溜まりを持つことが特徴的である。この人工干潟では、地盤乱底質など生物生息環境の多様性を人為的に創生することによって、ごく近傍の干潟では見られないような生物を含む多様な生態系が、潮溜まりを持っていることが場の生産力を上げている可能性が数値計算により示唆された。

(海岸工学論文集 Vol.52 2005.11)